



SSRI Forecasting Report

最近の出来事

2021年7月号

本コラムでは医薬品のフォーカスティングを行う上で役に立つ情報の提供を行っていきます。

新型コロナウイルス感染症の影響で受診抑制が発生し、医薬品の使用量が減少したとされています。そこでデータ集「医薬品の製品ライフサイクルモデル」のデータを使用して、2020年度の売上高について分析をおこなってみました。

【分析のポイント】

- 金額データではなく数量データを使用する
- 4四半期移動平均値を使用する（期変動を平準化するため）
- 単純な対前年比ではなくトレンドからの乖離について調べる

【検討方法】

現時点で製品ライフサイクルモデルの「安定期」にある製品について、①と②を比較した。

- ① 2019年度までのトレンドを延長したモデル値
- ② 2020年度の実績値（2020年4-6月から2021年1-3月まで4四半期の平均値）

【結果】

- 全体的な傾向としては売上高の減少傾向は認められなかった
- 但し一部の製品では実績値がモデル値を下回り、受診抑制の影響が示唆された（次ページ以降にグラフを示した）

株式会社 社会情報サービス
フォーカストチーム

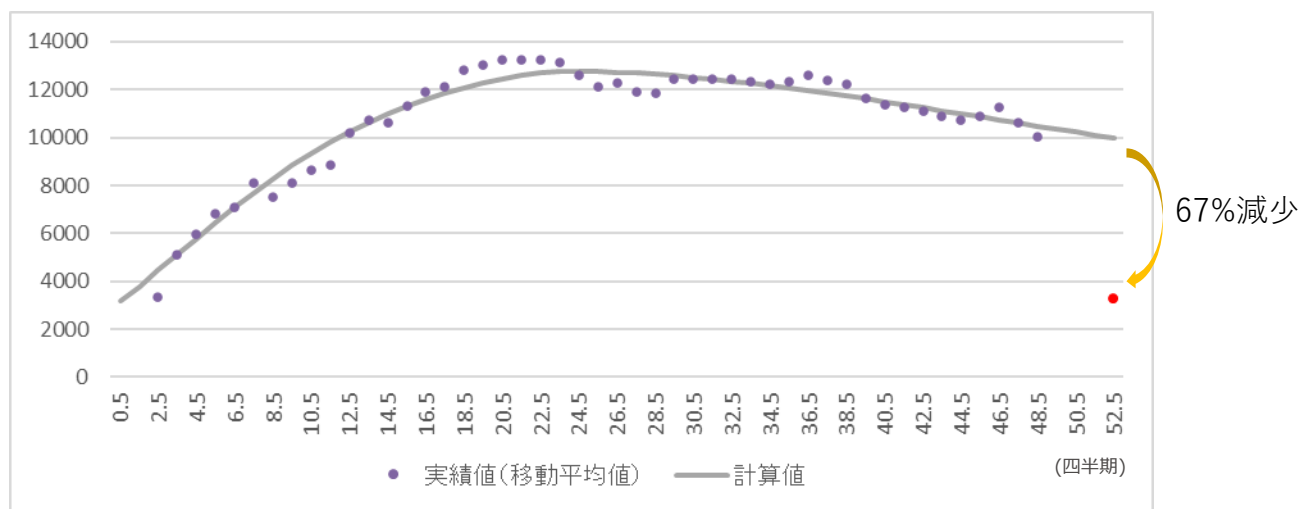


1. 抗菌薬の例

製品名：ジェニナック（アステラス）

発売：2007年10月

投与形態：内用



コメント

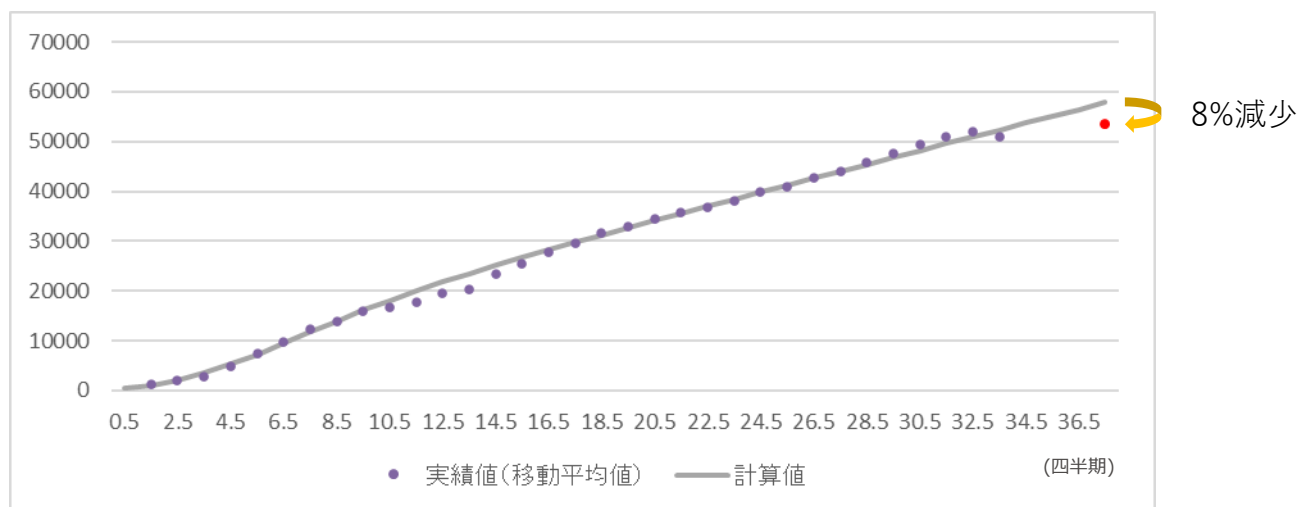
元々年変動の大きな製品であるが、2020年度の売上は後発品が発売されたときのような大幅な低下を示した。アステラスによると新型コロナウイルス感染症の影響による減少とのこと（決算説明会資料）。

2. 泌尿器疾患用薬の例

製品名：ベタニス（アステラス）

発売：2011年9月

投与形態：内用





コメント

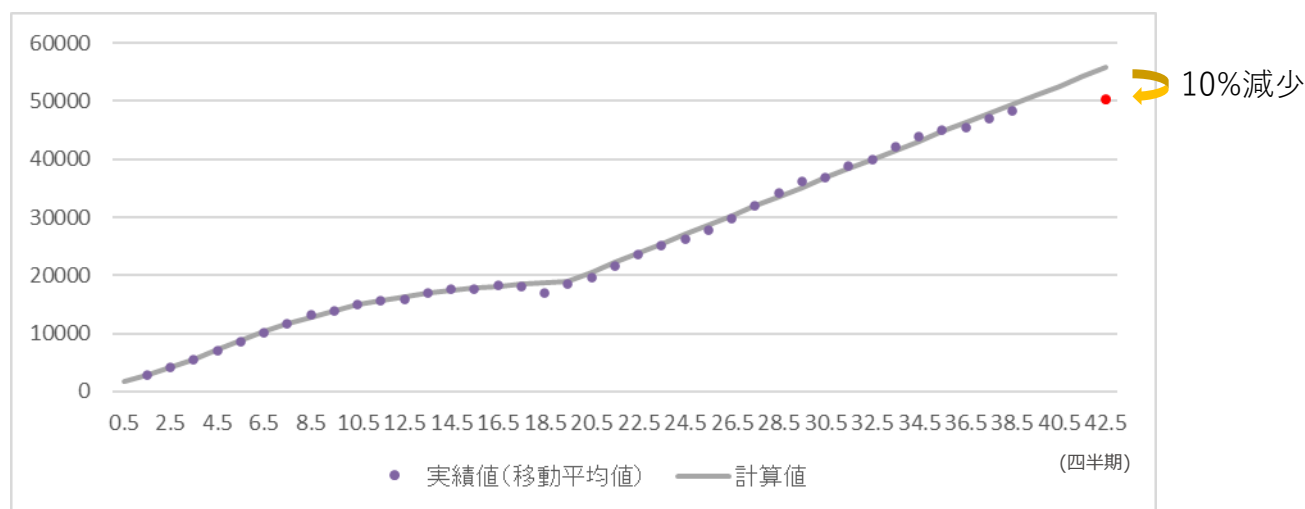
数量は前年より増加しているが、トレンドを延長したモデルと比較して成長率は鈍化している。アステラスによるとCOVID-19の影響で受診抑制による需要減とのこと（決算説明会資料）。

3. 抗うつ薬の例

製品名：サインバルタ（塩野義）

発売：2010年4月

投与形態：内用



コメント

数量は前年より増加しているが、トレンドを延長したモデルと比較して成長率は鈍化している。理由は不明であるが別の抗うつ薬（レクサプロ）も成長率が鈍化している（6%減少）ので、新型コロナの影響の可能性も考えられる。